

物語

清水濱
臣自筆
稿本

三十一
上

古話
篇目

古話
篇目

物語

濱臣自筆

古話篇目

淳臣自筆稿本

古物修目錄

補元

更科日記奥入云々とのみあり
と一方より八葉巻の物語あり有る○
於此に云々あり

いさや

九葉

あ人のつるも

風葉

とらふらふら

風葉

あひのこ

月詣恋中物語の名よふよふ
九葉○八雲御抄○

うほも

あまのうほ

おらふらふら

表のうほ

あまの



黒川真道蔵書

黒川真道蔵書

黒川真道蔵書

又云此書は...
又云此書は...
又云此書は...

正史よりあまの
面白

隠るもの

風葉集 ○秋衣二下三六才 ○宝物集 ○秋衣一五才 ○河海空蟬巻手 ○

○河海十三巻葉上 ○秋衣四下六才

今うくれこの

○拾遺万葉集卷之三首八十一

あまのやとらり

風葉

いづるふち

あまのふち

あまのふち

風葉集

交野のおね

枕冊子一五才 ○源野分 豊三三才 ○秋冊子物語ハ 一 ○玄音法印百人平首抄

みつろく悔左大将

更科日記奥入云みつろく ○秋衣一上三十四才

とはまあけ

頭の中物

落る系

江名の姫君

時多丸葉

約へ志め左大将

風葉集

定めらるまきせ

今とらりくもや

風葉集 ○拾遺万葉集卷之三首八十一

たのまらるまき

よりの心

袖めり

風葉集 ○秋衣四下四才

淡ゆふ

あまの

下文字ありき

Handwritten notes at the bottom of the page.

波らぬ中 風葉

~~~~~

岩うの波 風葉

ふくらむ 風葉

すきいみ

あゝ火いこわ 風葉

あゝさう

うつゝの雲

かりは

赤糸の流 風葉集

○括弧二葉寄合 三首入

あゝさうこころ

下文かつら

非  
下文まつりのお

そら 神中抄八十六 ○知頭おとろのりそをきこらぬをこまをこらそらと

あちの丸糸

秋の栞詠ふ女將 風葉

ついで

淡雲の枝

す磯つとらりて 雲御抄 ○今昔卷十九依り見破磯侍出家結第九 ○

おゆき

垣洞見 風葉集

あゝ空

風葉月の門 さら 風葉月上をを成や だん ○

や竹々人字治の橋歌 判云左のくや竹々人字治の橋歌くわ古きお倍のんねうねひてあゝあゝれあゝく倍く尤以左為勝

○括弧三首入

うらりの女流

わろくそ

わりのこめ 風葉集

ふるさとし

いせ旅 風葉集

るのあし

写戸 風葉集 の名後〇

うき波 風葉集

あし魚 風葉集

わろえ

けつしき 右大将

み 風葉集

志のふりり 風葉集

こうろ 風葉集

あし 風葉集

波のやゆ 風葉集

おま井の月 風葉集

透よ 風葉集

まが 風葉集

親 風葉集

〇若選り高平の

とんるすたし  
風葉集

いそぐ志のふ  
風葉集

あふくさ  
風葉集

あつた逸歌  
風葉集

舟士のり  
風葉集

川きり  
風葉集

風よつさるき  
風葉集

けつろふむせふ

よそのねわい  
風葉集

う  
河海蓬生 丁巳年うかの多 桂中初言物語の風葉集

上支のれけり  
又いふべきを

上支のれけり

をるゑのねま  
風葉集

いちねい  
風葉集

ころきうら  
風葉集

梅やうら  
風葉集

まよふ  
風葉集

あなまのね  
風葉集

みきともあつね  
風葉集

釣らる  
風葉集

ころるに  
風葉集

山吹  
風葉集

○共送る音行石十五首入り

高垣あづま

風葉〇後拾遺雜一はあづま小井うつくしむらさきくみきうたけのう。

あせご

風葉〇袂衣ニ下ニせこめ少ねのやうニ〇同ニ下ニ上ウ

深心うつくし

風葉集

いづれ水

風葉ろみみの枝あたる〇

わづのつく

風葉

雪の中

風葉〇

茶すゑのあ

三ノ非

夏の通ひ流

風葉

うつら流

風葉

妻あづまの三位中將

風葉集

浅茅うき流

風葉

ろんすむねお大ね

風葉

あねさくそりる涼大細

風葉

後とゆね大将

風葉

おかふりお右大ね

風葉

流きくもをさねる川

風葉

我よりくさる中油吃

風葉

ちよみ操お中ね

提中納言物語中篇目〇風葉集

あづま

風葉

あのかきぬき

風葉

〇或云なん下あつねくおね  
上のねくおね







晴のうはく風葉

遠う風葉

なれく悔きた大物

こあ風葉

差あゆ風葉の天稚みこ風葉

ゆるさめ風葉

そき風葉の大物風葉集

うはけりのサ物風葉

清あ風葉の大物丸葉

江梅の園白

ま風葉

玉藻風葉のふま丸葉

ち風葉の大物風葉

やせ川風葉

み風葉

袋風葉の大物風葉

ゆ風葉

く風葉の清風葉子風葉

わ風葉

ひ風葉

ろ風葉





うやうやのわが 枕冊子物語 一〇

びら うつほ巻名目ゆり 〇枕冊子物語 一〇

こまの 枕冊子土八 〇枕冊子物語 一〇 物語〇同云こまの。枕冊子のまかとは

くの 枕冊子物語 一〇 〇源柳花鳥こまの。枕冊子巻まのの外と云詞

あふ 枕冊子物語 二〇 〇枕冊子物語

まの 枕冊子物語 三〇 〇枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 四〇 〇枕冊子物語

朝倉 枕冊子物語 五〇 〇指送る番并々朝倉

下又再出

今わ 十卷 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 十卷 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

秋津 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

今わ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語

あふ 枕冊子物語 〇 枕冊子物語













中書五

ちとまろ

わしきめ

めろの中ね

大津のなれ

まろくろ

女のひろ

こつおろ 香題所云

かくや

後ろら

即竹取

上巻出れ

貝

あかり

世継

よしあ

うのゆき

道公のゆき 秋冊子物語ハ ○

あしは

柳接のしん

たい

あし

支移つて  
なす

支移つて



方お

松蔭中納言

松尾

松の多

多

松

あやあ

権中納言

後松

あ

ま  
あ  
は

あ

小世能 即

阿佛物

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

阿婆心

結の長

あつまつ

西

はつゆくさの

里の

さま

さこののぬきめ 更科日記奥入とけのぬきめ 〇

さの

最勝支院通夜

久きり

めこのう

信

転進

魚鳥平家

めこのみ

信女さんなうみ

み

あ

ま

信女

ま

支那のよ





玉の伝 狭衣四十四ヶ...  
玉の伝 狭衣四十四ヶ...  
玉の伝 狭衣四十四ヶ...  
玉の伝 狭衣四十四ヶ...

大伴白王子 先の上文の大伴皇子...  
大伴白王子 先の上文の大伴皇子...  
大伴白王子 先の上文の大伴皇子...  
大伴白王子 先の上文の大伴皇子...

管王日記 臣國石花鳥引管王日記...  
管王日記 臣國石花鳥引管王日記...  
管王日記 臣國石花鳥引管王日記...  
管王日記 臣國石花鳥引管王日記...

真文日記 臣女白河真文日記...  
真文日記 臣女白河真文日記...  
真文日記 臣女白河真文日記...  
真文日記 臣女白河真文日記...

おほえの... 臣女白河真文日記...  
おほえの... 臣女白河真文日記...  
おほえの... 臣女白河真文日記...  
おほえの... 臣女白河真文日記...

橋姫物語 神中八十六  
橋姫物語 神中八十六  
橋姫物語 神中八十六  
橋姫物語 神中八十六

桂中納言物語 河海蓬生...  
桂中納言物語 河海蓬生...  
桂中納言物語 河海蓬生...  
桂中納言物語 河海蓬生...

紀長谷雄物語

はく...のぬ... 増鏡...  
はく...のぬ... 増鏡...  
はく...のぬ... 増鏡...  
はく...のぬ... 増鏡...

いかに...の... 増鏡...  
いかに...の... 増鏡...  
いかに...の... 増鏡...  
いかに...の... 増鏡...

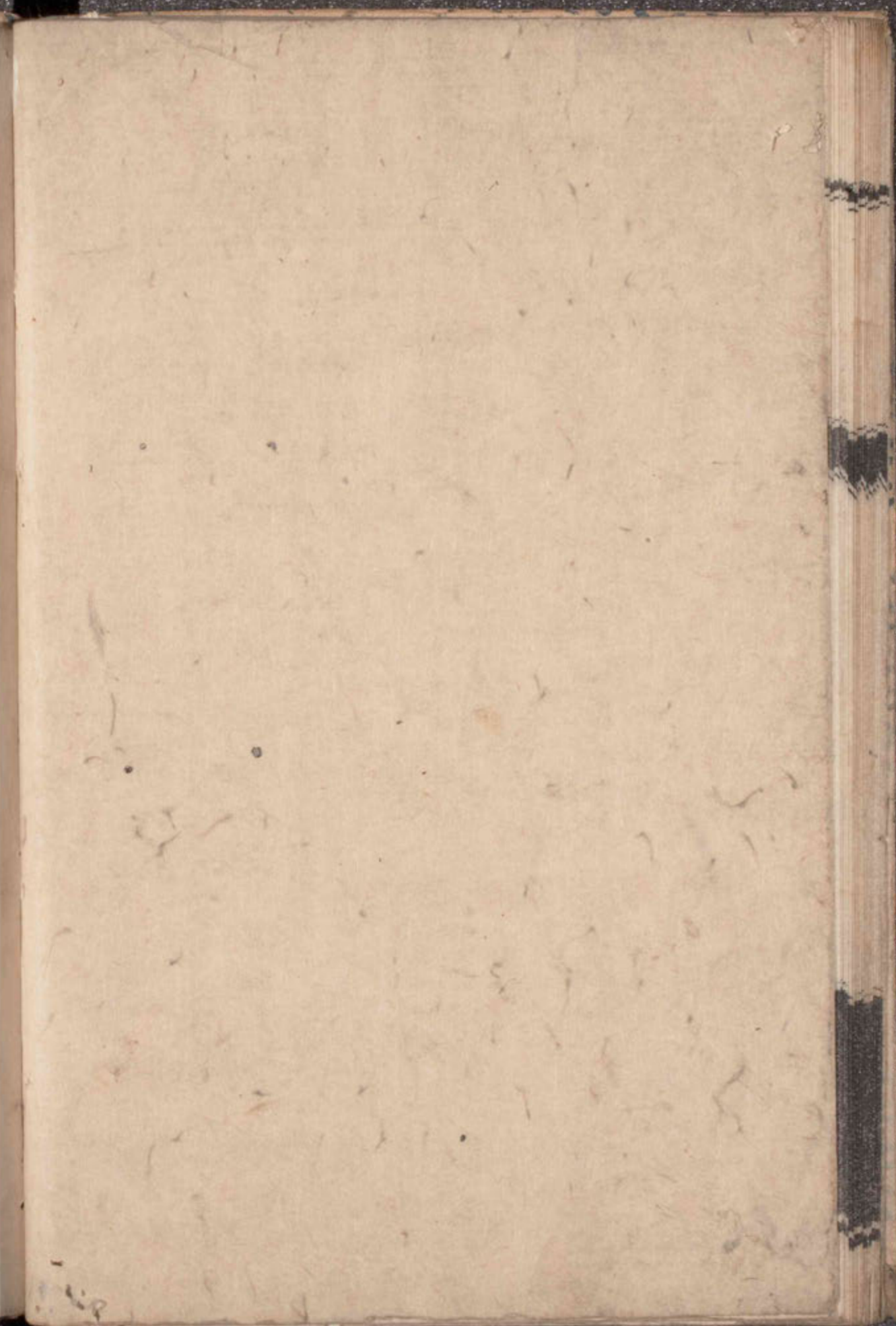
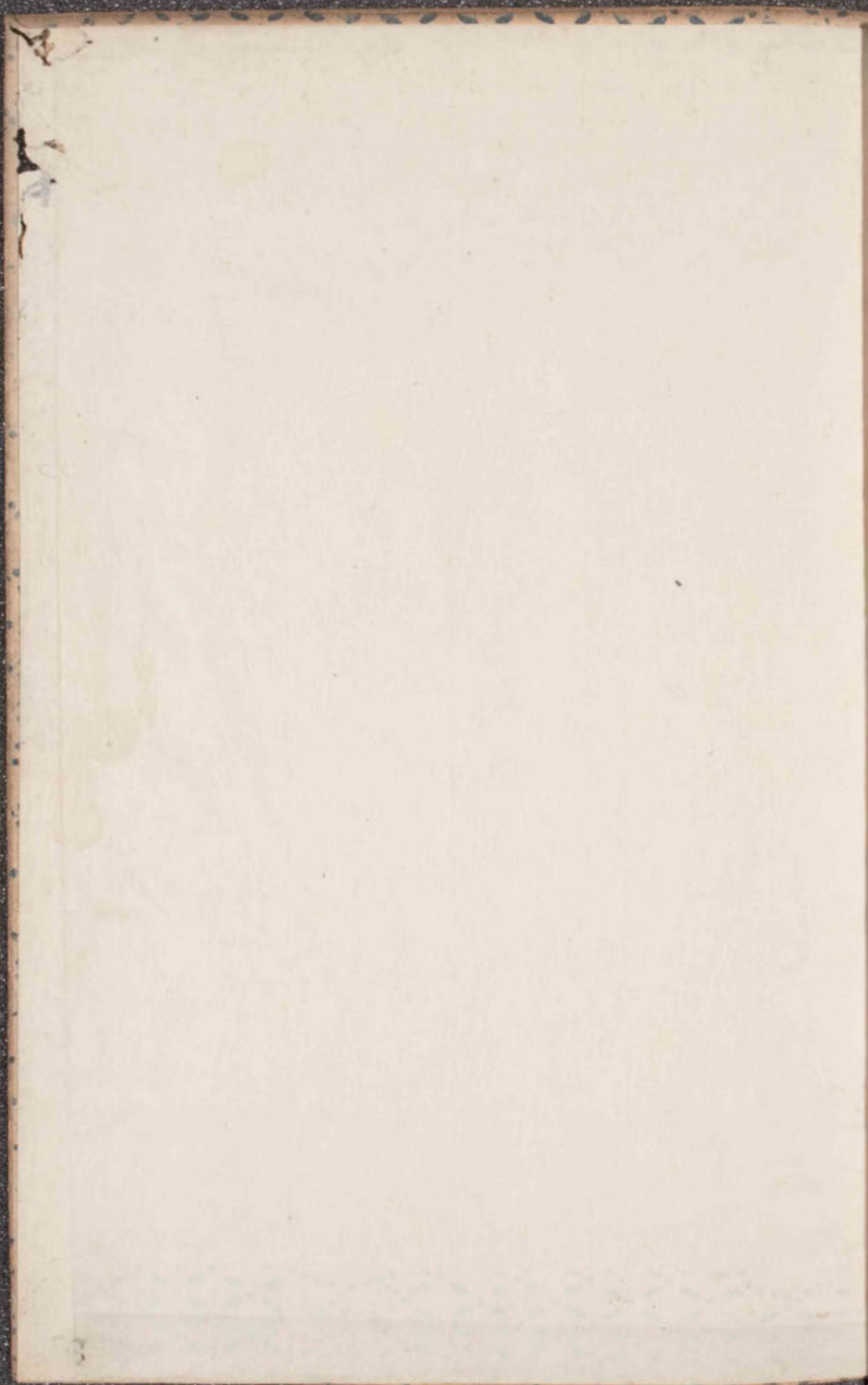
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...

あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...

あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...

あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...  
あ...の... 増鏡...





110X  
230.  
1